

- ② 内 容：講演概要は一般会員がこれによって十分理解できるよう、研究の考え方と結論をわかりやすく書いて下さい。
- ③ ページ数：原稿の長さは原則として 2 ページとします。超過する場合は 4 ページまでとします。4 ページを超えるものは受付けません。
- ④ 原稿用紙：原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので所定の原稿用紙を用いて下さい。  
原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備してありますから、所属支部へ請求して下さい。
- ⑤ 提出期限：7 月 31 日（金）必着のこと。期限までに原稿提出のないものは講演申込みを取消します。
- ⑥ 提出あて先：下記へ直送して下さい。

〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会内全国大会講演概要集係

6. 講演概要集頒布：講演概要集はすべて有料とし、無料交付はしません。学会誌 8 月号とじ込み予定の購入申込書によってお申込み下さい（申込期限 9 月 30 日予定；申込先 土木学会関西支部内全国大会講演係、送本 10 月上旬予定、土木学会全国大会講演概要集係より送本します）。講演者（連名者を除く）には各自の原稿の別刷 30 部を贈呈しますが、特別の増刷はいたしません。

講演概要集申込あて先 〒 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館 409 号室  
土木学会関西支部内全国大会講演係

7. 講演申込者へお願い：講演申込みならびに、講演概要原稿提出は必ず期限を守って下さい。期限後到着のものは、プログラム編成、概要集の編集と印刷の作業進行上全く余裕がありませんので受理いたしません。

講演申込カード必着日 6 月 10 日（水） 申込先 土木学会関西支部内全国大会講演係  
講演概要原稿必着日 7 月 31 日（金） 提出先 土木学会本部内全国大会講演概要集係

講演・概要集・関係日程一覧

講演申込カード、原稿用紙、執筆要領	請求先 所属各支部
講演申込：申込期限 6 月 10 日（水）	申込先 土木学会関西支部内全国大会講演係
講演原稿：提出期限 7 月 31 日（金）	提出先 土木学会本部内全国大会講演概要集係
概要集購入：申込期限 9 月 30 日（水）	申込先 土木学会関西支部内全国大会講演係
概要集送本：予定日 10 月上旬	送付者 土木学会本部内全国大会講演概要集係

海洋開発シンポジウム

◀ 4 月 18 日（土） ▶

人間活動の場を海洋に広げようとするムードが全世界的に高まりつつある現在、土木学会としても“人間活動の場の基盤施設の整備と、それに必要な技術の開発は土木工学本来の目的である”とのことから積極的に海洋土木の分野につき調査研究を実施すべく海洋開発委員会を設けいたしました。海洋開発委員会では、その研究活動の一つとして海岸工学委員会の協力のもとに下記によるシンポジウムを開催し、斯界進展に資することにいたしましたので多数の参加を希望いたします。

- 1. 期 日：1970 年 4 月 18 日（土）
- 2. 時 間：9.30～16.00
- 3. 場 所：土木学会土木図書館講堂
- 4. 申込方法：参加希望者は、官製はがきに ① 氏名、② 勤務先、③ 連絡先を明記のうえ、4 月 10 日までに土木学会事業課へお申込下さい。満員の際はお断りすることもありますので、お早めにいただければ幸いです。
- 5. 参加費：500 円（講演集代を含む）当日会場にてお払込み下さい。
- 6. プログラム：（予定ですので多少変更があるかも知れません）

9.30～9.45	開 会 挨拶	土木学会海洋開発委員会委員長	木 間 千 仁
9.45～10.45	海中構造物の設計（波力について）	運輸省港研	鶴 田 千 巖
10.45～11.45	海中作業台	建設省土研	吉 田 巖
11.45～12.45	昼 食 休 憩		
12.45～13.45	海 底 測 量	東京大学生研	丸 安 隆 和
13.45～14.45	海域における水汚染	東京大学工学部	杉 木 昭 典
14.45～15.45	人工漁礁（海洋生物資源開発に関連して）	農林省土試	加 藤 重 一
15.45～16.00	閉 会 挨拶		木 間 千 仁

なお、各講演時間には質疑応答の時間を含みます。

第2回海洋開発シンポジウム<於土木学会講堂>

▶4月17日(土)◀

昨年開催された第1回海洋開発シンポジウムは、多数の参加者をえ、有益な意見の発表、変換が行なわれました。また、参加者から第2回のシンポジウムを開催することが要望されました。

海洋開発プロジェクトでの土木学会の果たす役割は、土木技術者にとってますます大きな関心事となり、その活動はより各工学分野からも注目されております。

そこで、海洋開発委員会は話題を海洋構造物の設計、施工の具体的な問題を中心として、下記による第2回海洋開発シンポジウムを開催することになりましたので、多数の参加を希望いたします。

1. 期 日：1971年4月17日(土)
2. 時 間：9.30～16.00
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂
4. 申込方法：参加希望者は、官製はがきに ① 氏名、② 勤務先、③ 連絡先を明記のうえ、4月9日までに土木学会事業課宛お申込下さい。
5. 参加費：未定(当日会場でお払込み下さい)。
6. プログラム：(予定ですので多少変更があるかも知れません)
 

9.30～9.45	開 会 挨拶	土木学会海洋開発委員会委員長 本 間 仁
9.45～10.45	海洋の開発が環境にあたえる影響について	東海大学海洋学部 宇野木 早苗
10.45～11.45	海洋構造物用土木材料について	国鉄鉄道技研 樋口 芳朗
11.45～12.45	昼 食 休 け い	
12.45～13.45	日石喜入大型シーパースの設計	大成建設 二階堂 守夫
13.45～14.45	海中展望台の設計と施工	日立造船 岡 本 幸三
14.45～15.45	海洋掘削機の稼働について	インドネシア石油 山 田 秀夫
15.45～16.00	閉 会 挨拶	本 間 仁

なお、各講演時間には質疑応答の時間を含みます。

アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム論文募集

土木学会コンクリート委員会ではかねてよりアルミナセメントコンクリートの施工指針について検討してまいりましたが、原案がおおむねまとまりましたので、主要部分の説明のためのシンポジウムを企画しました。その際アルミナセメントコンクリートに関する研究の発表をもあわせて行ないますので、論文提出希望者はふるってご応募下さいますようお願いいたします。

1. 主 催：土木学会コンクリート委員会
2. 日 時：1971年6月16日(水)9.30～
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目無番地/国電地下鉄四ツ谷駅際外壕公園内/電話 03-351-5138 番)
4. 論文内容：アルミナセメントコンクリートの研究に関するものとし、施工・管理に関連したものも含みます。
5. 申込方法：3月16日までに土木学会コンクリート委員会(東京都新宿区四ツ谷1丁目)に標題および論文概要(200字以内)をそえて申込んで下さい。原稿用紙をお送りします。
6. 原稿提出：5月1日までに上記委員会に提出して下さい。原稿は学会指定のオフセット用原稿用紙を使用して下さい。原稿枚数は2枚とします。
7. 備 考：施工指針(案)の主要部分は研究論文とともに印刷し、当日配布します。論文の採否は印刷物の頁数に制限もあるので、上記委員会にご一任下さい。応募数により論文発表は、総括報告方式で行なうこともあります。  
論文はコンクリート・ライブラリーとして印刷いたしますのであらためて原稿を提出して戴く予定で、この採否も上記委員会にご一任下さい。

### 第3回海洋開発シンポジウム開催について

5月20日(土)

下記により第3回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数の参加を希望致します。

1. 日 時: 1972年5月20日(土) 9.30~14.00
2. 場 所: 土木学会土木図書館講堂(国電四谷駅徒歩5分)
3. 主 催: 土木学会海洋開発委員会
4. プログラム:
 

9.30~9.35	開会挨拶	土木学会海洋開発委員会委員長	本間 仁
9.35~10.10	海洋構造物に関する調査研究委員会の活動状況について	海洋構造物に関する調査研究委員会委員長	村上 永一
10.10~11.10	本州四国連絡橋基礎施工上の問題点	本州四国連絡橋公園	浅間 敏生
11.10~11.45	海中構造物に作用する不規則波の波力	京都大学	岩 垣 雄一
11.45~13.00	昼 食、休 憩		
13.00~13.35	浮体構造物の安定	東洋大学	本間 仁
13.35~14.25	海洋レクリエーション(政策、計画について)	運輸省	松 本 輝 寿
14.25~14.30	休 憩		
14.30~15.20	海洋レクリエーションプランニング(国内の開発プランと諸外国の事例)		
15.20~16.00	ECOR (Engineering Committee on Oceanic Resources) 委員会活動について	日本デトロッド	野 尻 徹 郎
		運輸省港湾技術研究所	鶴 田 千 里

### 第12回地震工学研究発表会講演募集

下記により第12回地震工学研究発表会を開催致しますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1972年7月18日(火)~19日(水)
2. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定:
  - (1) 講演内容: 理論, 実験, 耐震設計の実例, 復旧工事, 震害等
  - (2) 申込方法: 4月17日(月)までに題目, 講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける), 勤務先, 連絡先を明記し, 土木学会耐震工学委員会あてお申込み下さい。ただし, 講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。
  - (3) 講演概要原稿締切期日: 6月5日(月) 厳守

講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは1題目刷上り4ページ以内(図・表・写真を含み6480字)とし, 所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。なお, 講演時間は1講演 15~20分(質問時間を含まず)の予定です。

### 第19回海岸工学講演会講演募集

第19回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。

なお、期日に遅れたものは受けられませんのでご注意ください。

1. 開催期日: 1972年11月13日(月), 14日(火)
2. 場 所: 第1会場: 日消ホール(東京都港区西久保舟町)地下鉄虎ノ門下車徒歩3分  
第2会場: 発明会館( )
3. 講演申込締切: 1972年5月31日(水) 必着
4. 講演原稿締切: 1972年7月15日(土) 必着
5. 講演募集要項:
  - (1) 講演申込みの際には, 次の事項を記載して下さい。
    - ① 講演題目
    - ② 著者名(連名の場合には登壇者に○印をつける)ならびに職名および連絡先住所
    - ③ 刷上り予定ページ数

## 第 4 回 海洋開発シンポジウム開催について

▶ 5 月 12 日 (土) ◀

下記により第 4 回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数の参加を希望致します。なお、参加希望の方は 4 月 30 日までに官製ハガキで、勤務先、勤務先住所、所属部、課、氏名、第 4 回海洋開発シンポジウム参加希望と明記のうえ、新宿区四谷 1 丁目社団法人土木学会・海洋開発委員会宛お申し込み下さい。

1. 日 時：1973 年 5 月 12 日 (土) 9.30~17.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂 (国電四ツ谷駅徒歩 3 分、外濠公園内)
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. 講 演 集：当日実費頒布
5. 参加方法：上記によりお申し込み下さい。
6. プログラム：
 

9.30~9.40	開会挨拶	海洋開発委員会委員長	本 間 仁
9.40~10.10	沿岸漁場整備の最近の動向	水産庁漁業振興課	伊 原 弥一郎
10.10~10.40	水産における海洋開発について	農林省農薬土試験場	中 村 光 郎
10.40~11.10	感潮狭口のタイダルプリズムについて	室蘭工業大学	近 藤 俊 郎
11.10~12.00	〔特別講演〕海水の淡水化技術の動向と将来	通産省工業技術院	菊 地 邦 雄
12.00~13.00	昼 食・休 憩		
13.00~13.30	レジコンクリート系多目的ポンツーン	(株) 開発機構	波 木 守
13.30~14.00	500t 埋設アンカーの設計と施工	(株) 間 組	○下 村 嘉平衛 橋 内 勝 美 (未 定)
14.00~14.30	多列円柱構造物に作用する潮流力に関する研究	三菱重工業 (株)	(未 定)
14.30~14.40	休 憩		
14.40~15.10	海洋油田開発における固定式プラットフォームの計画、設計および建設作業の問題点と手続	日本オイルエンジニアリング (株)	○山 下 敢 一 鈴 木 正 宏
15.10~15.40	海洋構造物の腐食と電気防食の適用例ならびに防食効果について	中川防蝕工業 (株)	中 川 雅 夫 ○寛 健 彦
15.40~16.10	木四架橋における海中掘さくについて	本州四国連絡橋公団	吉 閉 新 也
16.10~16.50	〔特別講演〕国際 ECOR・日本委員会・海底開発委員会のとりまとめた現時点での日本の海洋工学技術の現状と問題点	ECOR 海底開発委員会委員長 (新日本製鉄株式会社) 比 田 正 副委員長 (株式会社大林組) ○松 石 秀 之	
16.50~17.00	閉 会 換 拶	海洋開発委員会委員長	本 間 仁

## 第 20 回 海岸工学講演会講演募集

第 20 回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。

なお締切期日に遅れたものは受付られませんのでご注意ください。

7. 開催期日：1973 年 11 月 14 日 (水)、15 日 (木)
2. 場 所：第 1 会場：愛知県産業貿易会館 4 階第 1 会議室 (名古屋市中区丸の内 3 丁目 1 番 6 号) 予定  
第 2 会場：愛知県婦人文化会館講堂 (名古屋市中区三の丸 1 丁目 2 番地) 予定
3. 講演申込締切：1973 年 5 月 31 日 (木) 必着
4. 講演原稿締切：1973 年 7 月 16 日 (月) 必着
5. 講演募集要項：
  - (1) 講演申込みの際には、次の事項を記載して下さい。
    - ① 講演題目
    - ② 著者名 (連名の場合には登壇者に○印をつける) ならびに職名および連絡先住所
    - ③ 刷上り予定ページ数
    - ④ 論文要旨 (800 字程度)
  - (2) 同一内容の講演を一緒に 2 つ以上申込むことおよび同一著者が重複して登壇するものは受付けません。
  - (3) 原稿 1 編の長さは原則として 5 ページ以内 (350 字詰原稿用紙 30 枚以内 (図、表、写真を含む)) と致します。

## 第5回海洋開発シンポジウム開催について

▶ 6月15日(土) ◀

下記により第5回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時: 1974年6月15日(土)
2. 会 場: 土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目)
3. 主 催: 土木学会海洋開発委員会
4. 講演 集: 当日実費頒布
5. 参加 方法: 今回は日程の関係で自由参加と致します。

6. プログラム:

9:55~10:00	開会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁
10:00~10:30	波動伝播問題の数値シミュレーションについて	川崎重工(株) 入見昌地・坂井藤一・月岡康一
10:30~11:00	任意形状の浮遊型海洋構造物に働く波力—グリーン関数による解—	
11:00~11:30	浮き防波堤の開発研究—主として現地実験について—	東京工業大学 日野 幹雄・宮永 洋一
11:30~12:10	アツアボリスの設計概要	農林省農業土木試験場 加藤 重一
12:10~13:00	昼 食 休 憩	三菱重工(株) 星 野 守
13:00~13:30	多列パイル構造物の波の作用高さについて	大阪大学 榎木 亨・岩田好一朗
13:30~14:00	アンカーの引抜き抵抗実験	中央大学 服部 昌太郎
14:00~14:40	半潜水型給足場を用いた明石海峡での海底ボーリング	本州四国連絡橋公団 岡田 哲夫
14:40~15:20	大水深土質調査機器の開発について—海底岩盤型資料採取装置の試作—	
15:20~17:00	沿岸海域の基礎調査について	運輸省港湾技術研究所 松本 一明・堀江 宏保・小林 正樹
17:00~17:05	閉会挨拶	園土地理院 西村 霞二・大竹 一彦 海洋開発委員会委員長 本間 仁

## 第10回水工学に関する夏期研修会

▶ 7月31日(水)~8月8日(木) ◀

水工学に関する夏期研修会も回を重ね本年は第10回を迎えました。同研修会はこれまで主に九州、本州、北海道の主要都市を持ち回りで開催してまいりましたが、第10回は初めての試みとして四国(徳島)開催を企画致しました。

つきましては、第10回水工学に関する夏期研修会の日程は下記のとおりですので奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催期間: 1974年7月31日(水)~8月8日(木)
2. 場 所: 徳島大学工学部・機械講堂(徳島市南常三島町2-1)
3. 対 象: 大学卒業程度
4. 題 目: 講師および日程(題目は多少変更することがあります)

A コース: 7月31日(水)~8月3日(土)

7月31日(水)

9:00~9:30	受 付	
9:30~12:00	水理構造物による局所洗掘	京大工 教授 中川 博次
13:00~16:00	都市化と流出	京大防 教授 角 屋 陸

8月1日(木)

9:00~12:00	都市河川の水理	阪大工 助教授 村岡 浩爾
13:00~16:00	密度流の諸問題	阪大工 教授 室 田 明

8月2日(金)

9:00~12:00	浮遊砂	京大防 教授 芦田 和 男
13:00~14:30	貯水池の堆砂問題	神大農 教授 吉良 八郎
14:30~16:00	浮遊砂貯水池の堆砂過程	徳大工 教授 杉尾 捨三郎

8月3日(土)

9:00~10:30	四国の直轄河川	四国地建 河川部長 藤 村 実
10:30~12:00	河川計画上の諸問題	東京建設コンサルタント(株) 代表取締役 横 田 周 平

9. 申込み先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会事務局編集課あて  
 10. 講師およびプログラム：

第1日目 東京・九月二十二日(月) 大阪・九月二十五日(木)	9.20	開 場	
	10.00~10.10	構造力学公式集発刊について	土木学会構造力学公式集編集委員会委員長 前田 幸雄
	10.10~11.10	特別講演：構造力学と橋の昔ばなし	東京大学名誉教授 福田 武雄
	11.10~11.40	構造力学公式集の内容について	土木学会構造力学公式集編集委員会幹事 西岡 隆
		昼 休 み	
	13.00~15.00	曲げと軸力を受ける部材の解析	東京大学助教授 西野 文雄
	15.00~17.00	曲がり材の解析	山梨大学助教授 深沢 泰晴
第2日目 東京・九月二十三日(火) 大阪・九月二十六日(金)	8.30	開 場	
	9.00~11.00	板の解析	大阪工業大学教授 岡村 宏一
	11.00~12.30	シエルの解析	京都大学助教授 白石 成人
		昼 休 み	
	13.30~15.30	有限要素法による解析	東京工業大学助教授 吉田 裕
15.30~17.00	構造物の振動	東京大学教授 伊藤 学	

11. 使用テキスト：1. 講習会用テキスト（B5判，約100ページ，参加費に含まず）  
 2. 構造力学公式集（会員特価 6000円，送料330円です。土木学会または書店にて別途ご購入のうえご参加下さい）  
 注：お申込みの際，払い込まれた参加費は原則として返却できません。

## 第6回海洋開発シンポジウム開催

▶ 9月12日(金) ◀

下記により第6回海洋開発シンポジウムを開催致しますので多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

- 日 時：1975年9月12日(金) 9:50~16:05
- 会 場：土木学会土木図書館講堂（国電「四谷駅」下車徒歩5分，外濠公園内）
- 主 催：土木学会海洋開発委員会
- 講演集：当日実費頒布
- 参加方法：自由参加
- プログラム：
 

9:55~10:00	開会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁
10:00~10:30	(1) 水中発破の構造物への影響について	京都大学工学部 ○花崎 敏一・佐々 宏一・伊藤 一郎
10:30~11:00	(2) 我國の太平洋沿岸に存する湾の湾口狭窄部特性について	防衛大学校 重村 利幸
11:00~11:30	(3) LNG用コンクリートの模型実験（第1報）	中央大学 西沢紀昭・フジタ工業(株) ○田中誠一郎・(株) 間組 大村嘉平衛・(株) 開発機構 板子忠雄
11:30~12:00	(4) 阿賀沖海洋プラットフォームの建設	新日本製鉄(株) 島田 英雄
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~14:00	(5) 「特別講演」浮遊構造の構造力学について	東京大学工学部船舶工学科 吉田宏一郎
14:00~14:30	(6) 我國の原油タンカー用の大型シーバースについて	運輸省港湾技術研究所 上田 茂
14:30~15:00	(7) 固定式海洋構造物の国際的現況	東京大学工学部土木工学科 堀川 清司
15:00~15:30	(8) 日本における沿岸波浪情報の取得活用について	運輸省港湾技術研究所 高橋 智晴・ECOR 波浪委員会
15:30~16:00	(9) リーフによる波高減衰と水位上昇の現地観察	建設省 ○鶴木 和夫・橋本 一宏
16:00~16:05	閉会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁

## 第7回海洋開発シンポジウム開催

9月18日(土)

下記により第7回海洋開発シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

1. 日 時：1976年9月18日(土) 9:25~16:05
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂(国電「四谷駅」下車徒歩5分・外濠公園内)
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. 講 演 集：当日実費頒布
5. 参加方法：自由参加
6. プログラム：
 

9:20~9:30	開会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁	
9:30~10:00	(1) 海中公園事業と土木工学	海中公園センター理事長 田村 剛	
10:00~10:30	(2) 沖縄海洋博の人工海浜について	建設省近畿地方建設局 鶴木和夫	
10:30~11:00	(3) 人工海浜の施工と水質問題	日本テトラポッド(株) コンサルタント事業部 松井 憲	
11:00~11:30	(4) 海中における鋼材の腐蝕と防蝕	建設省土木研究所 藤田 実	
11:30~12:00	(5) 船舶衝突防止上の設計の一考察	建設省土木研究所 矢作 恒・○大志万和也	
12:00~13:00	昼食休憩		
13:00~13:30	(6) LNGの海洋輸送・備蓄一貫システムについて	中央大学 西沢紀昭・(株)船租 ○淡路次郎・(株)開発機構 板子忠雄 フジタ工業(株) 田中誠一郎	
13:30~14:00	(7) 海洋開発における消防構造物の役割	国際臨海開発技術センター 赤塚雄三・運輸省第2港湾建設局 ○竹田英章	
14:00~14:30	(8) 波浪中の直立円柱浮体の動揺と漂流について	運輸省港湾技術研究所 ○会田良実・○鈴木康正	
14:30~15:00	(9) IIR浮消波堤について	石川島播磨重工業(株)技術本部 瀧上惣エ門	
15:00~15:30	(10) グラブ浚渫による浮遊土砂の生産について	中央大学理工学部 ○首藤伸夫・建設省土木研究所 橋本 宏・宇多高明 中央大学理工学部 戸沢孝吉	
15:30~16:00	(11) 海中掘削機	建設省土木研究所 本田宣史	
16:00~16:05	閉会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁	

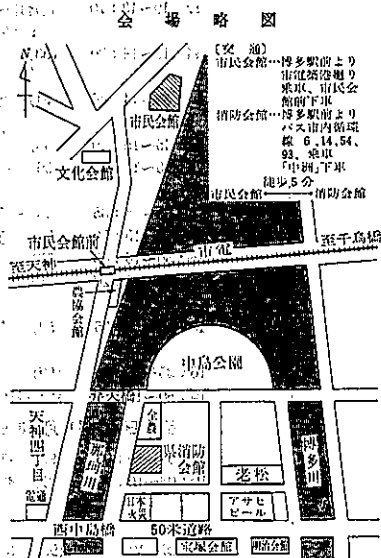
## 第23回海岸工学講演会開催

11月10日(水)~11月12日(金)

第23回海岸工学講演会を次の日程により福岡市において開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。

- 主 催：土木学会海岸工学委員会  
共 催：土木学会西部支部
1. 期 日：1976年11月10日(水)、11日(木)、12日(金)の3日間
  2. 会 場：第1会場(福岡市民会館・大ホール) 福岡市中央区天神5丁目1-23 室(761) 6567~9  
第2会場(福岡市民会館・小ホール) 福岡市中央区天神5丁目1-23 室(761) 6567~9  
第3会場(消防会館) 福岡市博多区中洲中島町3-10 室(271) 1276~7
  3. 参加方法：参加費無料、自由参加
  4. 論文集：当日会場にて実費頒布
  5. 講演題目：○印は講演者
  6. プログラム：
 

第1日目 11月10日(水) 第1会場(福岡市民会館大ホール)	9:20~9:30 開会挨拶 海岸工学委員会委員長 細井正彦 9:30~9:45 (1) 天端の低い直立壁に作用する波圧に関する研究
---------------------------------	---



講習会とする予定です。より多くの会員ならびに関係者のご参加を希望します。

記

1. 主催：土木学会土木計画学研究委員会
2. 主 題：土木計画における人間・社会調査法への応用
3. 日 程：昭和 52 年 9 月 1 日（木）～2 日（金）
4. 会 場：発明会館ホール（東京都港区芝西久保明舟町 17 / 電話 502-0511, 502-3835 番）
5. プログラム：第 1 日（9 月 1 日（木））
 

10:00～12:00	生理測定法	日本大学 近藤 武
13:00～15:00	心理測定法	東京工業大学 穂山 貞彦
15:10～17:10	住民意識調査とその課題点	東京大学 松原 治郎

第 2 日（9 月 2 日（金））

9:20～10:30	乗客の心理・生理反応分析と鉄道計画への応用	国鉄労研 三井 大和
10:40～12:00	道路施設計画における心理—生理反応分析への応用—	警察庁警研 村田 隆裕
13:00～14:20	港湾計画における心理的手法への応用	運輸省第五港建 新井 洋一
14:30～15:50	都市計画事業とその総合的評価	建設省 渡部与四郎
16:00～17:20	景観工学における心理測定とその応用	山梨大学 樋口 忠彦
6. 参加費：会員 9000 円、会員外 10000 円（ただし、テキスト代を含みます）。
7. 申込み方法：参加ご希望の方は、B5 判大の用紙に下記諸件明記のうえ、参加費を添えて現金封筒にて下記あて申し込んで下さい（本号に申込書が添付してありますので御利用下さい）。ただし、前金をご無理の際は、その旨明記のうえ請求書送付先を明示してお送り下さい（官公庁用諸書式が必要となります場合は当該用紙一式を同封して下さい）。記入諸件/① 参加者氏名、② 参加者所属機関および職名、③ 連絡先郵便番号・住所（自宅・勤務先明示のこと）、電話番号、④ 会員区分、⑤ 連絡事項。  
申込み・諸問合せ先/〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目、土木学会 第 9 回土木計画学講習会係、電話 03-355-3441 番、内線 23。

「第 8 回海洋開発シンポジウム」開催のご案内

▶ 9 月 9 日（金）◀

下記により第 8 回海洋開発シンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：1977 年 9 月 9 日（金）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂  
（〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目、国電・地下鉄とも四谷駅下車徒歩 23 分・外濠公園内）
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. 講演集：当日実費頒布
5. 参加方法：自由参加
6. プログラム：
 

9:30～9:40	開会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁
9:40～10:10	(1) 沿岸海域の拡散現象と水産生物環境	農林省産業土木試験場 中村 充
10:10～10:40	(2) 海洋景観の分析	建設省建築研究所 岩崎信文・日本テトラポッド(株) 妻夫木一秀
10:40～11:10	(3) パイヤー型浮消波堤の実地実験	東京製鋼(株) ○小川 悠・根来 広平
11:10～11:40	(4) 新型消波堤の賦設計について	海洋工学研究所 畑 敏男
11:40～12:10	(5) 海中工事に伴う汚濁の拡散予測	建設省土木研究所 橋本 宏・宇多 高明
12:10～13:10	昼食休憩	
13:10～13:40	(6) 大型タンカーのけい留中の挙動の現地観測	運輸省港湾技術研究所 上田 茂・柳沢 雄博
13:40～14:10	(7) マウイ海底パイプライン工事	日本鋼管(株) 沼塚 昇・青島 泰之
14:10～14:40	(8) LNG の海洋輸送調査システムについて	中央大学 西沢紀昭(株) 開発機構 板子忠雄 石川島播磨重工業(株) 下村大三(株) 間組 濱隆次郎 フジタ工業(株) 櫻村 博(株) ゴルバック 人見信之
14:40～15:10	(9) 港内消波のシステムの考察	日本テトラポッド(株) 加藤 久徳
15:10～15:40	(10) 国際協力における港湾開発について	(財) 国際臨海開発センター 小城 一広
15:40～16:00	(11) OTC 国際会議報告(1977 年 5 月ヒューストン開催)	ECOR 日本委員会会長 本間 仁
16:00～16:10	閉会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁



## 第9回海洋開発シンポジウム開催

▶9月30日(土)◀

下記により第9回海洋開発シンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

1. 日 時：9月30日(土) 10:00~15:25
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂  
(〒160/東京都新宿区四谷一丁目無番地、国電・地下鉄「四ツ谷」駅下車徒歩5分、外濠公園内)
3. 主 催：土木学会海洋開発委員会
4. 講演 集：当日実費頒布
5. 参加 方法：自由参加
6. プログラム：
 

10:00~10:05	開会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁
10:05~10:35	(1) 表面パイ式波浪計の開発	建設省土木研究所 ○橋本 宏・山口 修
10:35~11:05	(2) 浮体式燈棚の波浪中の動揺	運輸省港湾技研 合田良実・鈴木康正・海上保安庁燈台 築貫義人・海上保安試験センター 長尾一彦
11:05~11:35	(3) 係留船の長周期運動について	大阪大学工学部 椎木 孝・神戸商船大学 久保雅義・大阪大学大学院 京谷光高
11:35~12:30	昼食休憩	
12:30~13:00	(4) ロンシングパージによる大型海洋構造物の輸送法について	新日本製鉄(株) 相模原技術センター 倉田 進・○関田欣治
13:00~13:30	(5) 海中取水塔の基礎地盤の力学的安定に関する考察	電力中央研究所土木技術研究所 ○北原義浩・桜井彰雄・中村 宏
13:30~14:00	(6) 大鳴門橋の海中橋脚の施工について	本州四国連絡橋公団鳴門工事事務所 松本弘算
14:00~14:10	休 憩	
14:10~14:50	(7) 特別講演「スコットランドにおける沿岸開発(予定)」	ロバート・ゴードン工科大学教授 P. クラーク
14:50~15:20	映画(南海の沖に—エグソマレーシアプロジェクト—)	
15:20~15:25	閉会挨拶	海洋開発委員会委員長 本間 仁

## 昭和53年度岩盤力学委員会第1回研究報告会開催についてご案内

標記研究報告会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時：10月24日(火) 14:00~17:00
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂  
(〒160/東京都新宿区四谷1丁目無番地、国電・地下鉄「四ツ谷」駅下車、徒歩5分)
3. 研究 報告：(1) 「トンネル地圧と支保の効果について」 東京大学教授工学部 西松裕一  
(2) 「鉄道トンネルにおける地震災害について」 国鉄鉄道技術研究所 吉川恵也
4. 参加 方法：聴講自由
5. 定 員：180名(当日満員の際は、お断りすることがありますので、ご承知おき下さい)

## 電算機利用に関するシンポジウム開催

▶11月9日(木)~10日(金)◀

特別講演「なぜデータベースが必要か」 筑波大学教授 穂藤良介

パネルディスカッション「データベースと積算システム」

座長 大地羊三/パネラー 岩松幸雄(建設省)・高原清介(国鉄)・桂木睦夫(日本道路公団)  
・平田義則(鹿島建設)・比奈地信雄(清水建設)

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：11月9日(木)、10日(金)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂(〒160/東京都新宿区四谷一丁目無番地)
3. 主 催：土木学会 電算機利用委員会
4. 参加 申込：参加自由(当日混み合いますがご了承下さい)、講演概要実費販売
5. プログラム：
 

[第1日 11月9日(木)]